

# 決 議

青森県・下北地域及び上北地域を直結する国道279号は、地域経済の活性化、観光、医療体制の充実を図るため、また、国家プロジェクトやエネルギー政策並びに本州と北海道を結ぶ緊急性の高い重要な路線であり、私たちの生活道路としての「いのちの道」である。

しかし、近年では平成24年2月の豪雪により、むつ市～横浜町間において多くの車両が立ち往生となったこと、令和3年8月9日に発生した「むつ市・風間浦村豪雨災害」では、大雨により大畑町小赤川橋が被災したほか、今まで経験したことのない土砂災害が発生し、一か月以上にわたり一般車両の通行が制限され、地域住民の生活や産業活動に甚大な影響を与えたことなど、災害時における人流・物流の確保の重要性を再認識したところである。

このことから、被災した地域の早期復旧が必須であるとともに、大規模災害時における広域的な避難や事前防災・減災を意識した道路整備が求められており、また、日本海溝・千島海溝沿い地震が発生した際には、沿岸部に巨大な津波が到達することが予想されていることから、高台におけるバイパス整備が急務となっている。

さらに、道路や橋梁等の老朽化対策、あるいは雪国に暮らす住民生活への対策の充実を図り、災害に強い、安全・安心な道路機能を確保することが喫緊の課題である。よって、次の事項について提案する。

- 一、大雨により被災した小赤川橋等の道路施設について、国に対し早期復旧を図るよう求めること。
- 一、青森県による整備が決定している大畑町木野部～風間浦村易国間間バイパス整備事業の早期完成に向け、国に対し整備予算の確保を求め、県に対し計画に沿った進捗を求めること。
- 一、前項の区間のみならず、大間町～むつ市間において早期に全線バイパス整備が行われるよう、国及び県に求めること。
- 一、下北半島縦貫道路の早期全線開通に向け、国に対し整備予算の確保を求め県に対し整備促進を求めること。
- 一、雪国に暮らす住民の生活、経済活動を支えるため、国道279号に接続する市町村道を含む除雪等の雪対策経費について、国に対し、補助・支援制度の拡充を求めること。
- 一、国・県・沿線市町村が互いに手と手を取り合い、皆一体となった国道279号の整備をすすめることで、この地域に住むすべての住民が安心して暮らすことのできる環境づくりに全力で取り組み、災害に強い道路行政の推進を行うこと。

上、決議する。